株式会社 アイネット と株主様を結ぶコミュニケーション誌

inet
［証券コード：9600］

第 46 期

株主通信

［2016年4月1日 ▶ 2017年3月31日］

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、第46期 株主通信をお届けするにあたり謹んでごあいさつ申し上げます。

当期の業績

売上高	24,617百万円	前年比	0.7%増
営業利益	1,992百万円	前年比	3.8%増
親会社株主に帰属する当期純利益	1,314百万円	前年比	17.9%増

第46期のご報告

当連結会計年度におけるわが国経済は、金融市場の動きに不安定感があるものの、企業収益や雇用情勢は、緩やかな回復基調で推移しました。一方、海外経済は中国を始めとする新興国の景気状況、英国のEU離脱、米国新政権の誕生等の影響もあり、先行き不透明な状況が続いております。

当社グループが属する情報サービス業界では、国内経済の先行き懸念があるものの、企業のIT投資需要は回復基調にあります。その中でもクラウドコンピューティングの普及拡大、IoT(Internet of Things:モノのインターネット)の推進、ビッグデータやAIの活用拡大など、企業の売上拡大や顧客サービス向上を目的にした競争力強化のためのIT投資への関心が一層高まっております。

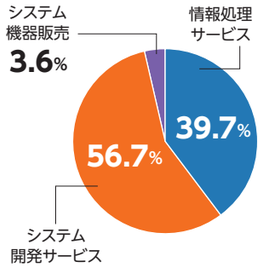
このような環境下、当社グループは、多様化する顧客ニーズに的確に応え、システム開発需要に対応するとともに、データセンターやクラウドサービスの商品力向上に注力してまいりました。

以上の結果、売上高24,617百万円(前年同期比0.7%増)、営業利益1,992百万円(同3.8%増)、経常利益1,939百万円(同5.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益1,314百万円(同17.9%増)となりました。

配当につきましては、継続的な安定配当を基本方針としております。この方針に則り、当期の年間配当金は1株あたり36円とさせていただきました。

株主の皆様におかれましては、より一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

サービス区分別売上高



情報処理サービス	システム開発サービス	システム機器販売
売上高 9,784百万円	売上高 13,937百万円	売上高 895百万円
売上構成比 39.7%	売上構成比 56.7%	売上構成比 3.6%
前期比 1.8%増	前期比 1.0%減	前期比 20.1%増

幅広い業種・業態のお客様へ、多様なサービスを展開し、更なる売上拡大と過去最高益の更新を目指します。

Q 2017年3月期の業績についてどのように評価されていますか?

A 事業方針の推進とグループ全体のシナジーによって、6期連続の増収と過去最高益を連続更新しました。

2017年3月期(第46期)業績は、売上高246億円(前年同期比0.7%増)、営業利益19.9億円(同3.8%増)、経常利益19.3億円(同5.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益13.1億円(同17.9%増)となり、売上高は6期連続の増収、利益面は過去最高益を連続更新しました。当期純利益につきましては、7期連続の増益となっております。

この業績向上の要因はここ数年注力しております「データセンタービジネス」や「クラウドサービス」などのストックビジネスが堅調に推移したこと、並びに前年度あった大型案件の収束があったものの金融業向けを始めとした「システム開発サービス」が堅調に推移したことが挙げられます。これらは、事業方針である「エンドユーザー志向※1」による顧客獲得と「ストックビジネス拡大※2」の成果が確実に表れてきたことと共に、グループ全体のシナジーによるものと考えております。

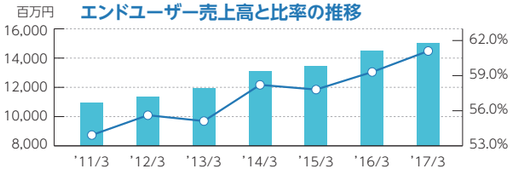
【用語解説】

※1 エンドユーザー …… システム等を利用するユーザー企業と直接契約のこと。

※2 ストックビジネス …… いわゆる継続契約型ビジネスのこと。当社では情報処理サービスを指す。

● エンドユーザー志向

・お客様に選ばれ信頼関係を構築
・多面的な取引の実現



● ストックビジネスの拡大

・継続的な売上／利益の確保
・一人当たり利益の増加

Q 好調な業績を支えるアイネットの「強み」や「ビジネスモデル」を教えてください。

A 幅広い業種業態のお客様に、様々なサービスを「ワンストップ」で提供できることが強みです。

当社グループは幅広い業種業態のお客様のビジネスにおいて、ITに関わる様々なサービスをワンストップで提供できることを「強み」としております。

システム開発だけでなく、データセンターの専業でもなく、システムの構築から運用、更には、様々なクラウドサービスを提供できること。また、請求書や各種帳票類の印刷や封入封緘・発送なども行っており、ITに関わる上流から下流まで、一気通貫で、且つセキュリティレベルの高いサービスを提供することで、他社との差別化を図っております。

当社グループのビジネスは、データセンターを活用し、その周りを創業ビジネスであるSS(サービスステーション=ガソリンスタンド)の決済業務やプリント・メーリング、システム開発、クラウドサービスなど、様々な事業体が、有機的に連携して取り巻いております。これらは、事業単体での営業推進のみならず、各々がクロスセルを行い、また、設備などのリソースを共有化することで、シナジーを発揮しています。例えば、銀行やカード会社様に対して、当社が作成したローンシステムをデータセンターでお預かりすると共に、業務で必要なカードの発券、更には、ご利用明細や督促状の印刷や発送などをフルサービスでご利用いただくなどのケースです。大量の個人情報を取り扱う、地方自治体や各種アウトソーサーなどのお客様へ向けて、データセンターとメーリングサービスをワンストップで提供できることが、他社との差別化となり、受注した事例もございます。

このように、各々の事業体における単一のサービス提供だけでなく、複合的・多面的にサービスを提供していくことで、お客様の利便性がアップします。また、これらのお客様が、部分的に安価な他社サービスへ切り替えようと考えても切り替え費用が発生します。即ち、サービスの品質は勿論のこと、コスト面でも他社の参入障壁になると共に、当社の優位性がますます高まる構造になっております。そして、多様な業種、業態のお客様へのサービスを展開することで、顧客や業界の浮き沈みに大きく影響することなく、安定的に成長することがで

き、経営の安定にもつながります。

当社は、このような強みを活かして顧客を獲得し、ストックビジネスを拡大しており、その結果として、連続して増収増益を達成できております。

●アイネットのビジネスモデル

Q　2018年3月期の見通しについて教えてください。

A　好調を持続し、更なる売上拡大と過去最高益の更新を目指します。

今期(第47期)の当社を取り巻く事業環境は、引き続き、国内景気と共に回復基調で推移すると予想しております。

企業のITに対する旺盛な投資意欲を背景に、IT市場は更なる拡大が見込まれます。また、企業はコスト削減のためクラウドサービスの活用を進めると共に、IoTの推進やビッグデータ、AIなどを活用し、更なる業績拡大を目指した戦略的な攻めのIT投資を加速させております。

当社グループも、これらの企業ニーズに応えるため、システム構築、データセンタービジネス、クラウドサービスなどに、これまで以上に注力してまいります。

以上のことから、今期(第47期)の連結業績は、データセンタービジネスとクラウドサービスを更に向上させるとともに、システム開発サービスやSSなど、既存ビジネスも伸ばしていき、売上高は256億円(前年比4.0%増)、営業利益21億円(同5.4%増)、経常利益20.5億円(同5.7%増)、親会社株主に帰属する当期純利益13.6億円(同3.5%増)を見込んでおります。

●47期の計画

売上高	256億円	(7期連続増収)
営業利益	21.0億円	(過去最高)
経常利益	20.5億円	(過去最高)
親会社株主に帰属する当期純利益	13.6億円	(過去最高)

Q　更なる成長のために、新たな取り組みがあれば教えてください。

A　「IoT」、「ビッグデータ」、「AI」など、今後急成長が期待される分野に積極的に取り組んでまいります。

最近、「IoT」、「ビッグデータ」、「AI」、この3つのキーワードは新聞や雑誌などの各種メディアで毎日のように取り上げられています。これらの技術は企業にとって今後重要な課題・テーマになっていきます。当社はこれらを将来的にフルサービスで提供できるようにしていきたいと考えております。

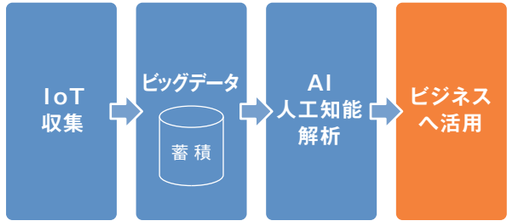
当社は、IoTのセンサーやネットワークの技術を既に保有しております。また、ビッグデータを蓄積するためのデータセンターも保有しておりますし、そのデータセンターにはAIを動かすために必要なCPUやメモリーを大量に保有しております。

さらに、今後はビッグデータを分析・解析し、ビジネスに活用することを目的として、AIソフトの保有会社と連携を強化し、研究開発や実証実験の取り組みを始めていく予定です。

一例として、昨年9月に発表をしておりますが、現在、「ドローンIoTプラットフォーム事業」に参入をしております。現在、世の中のドローン活用と言えば画像撮影や測量などが中心です。当社では、ドローンのセンサーで取得した様々なデジタルデータをビッグデータとして蓄積し、AIを使って分析・解析するといったインフラサービスの展開を予定しております。

IoT、ビッグデータ、AIの活用には、企業のIT基盤として、データセンター利用やクラウドサービスの導入が必要不可欠となってきます。当社としては、これらの需要をしっかりと捉え、更なる成長の新たな基盤を作り上げてまいります。

●今後の新たな取り組み



Q　最後に、株主の皆様へのメッセージをお願いします。

A　業績好調を見通し増配を実施、引き続き業績拡大による安定した利益還元を目指します。

当社は、事業方針の更なる推進と当社の強みを生かしたビジネスモデルで持続的成長を実現し、財務基盤の強化を図りつつ、株主の皆様へ安定した利益還元を実施してまいります。

配当金につきましては、今期(第47期)は増収増益の見通しでありますので、前期(第46期)の普通配当36円から、さらに2円増配し、6期連続増配となる38円の配当を予定しております。

最後になりましたが、グループ一丸となり目標達成に邁進してまいります。株主の皆様におかれましては、今後とも変わらぬご支援ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願いいたします。

●1株当たり年間配当金の計画(6期連続増配予定)

2016年3月期	2017年3月期	2018年3月期
34.0円	36.0円	38.0円
中間(17.0円) 期末(17.0円)	中間(18.0円) 期末(18.0円)	中間(19.0円) 期末(19.0円)
記念配当2円含む	株式分割(1:1.1)	

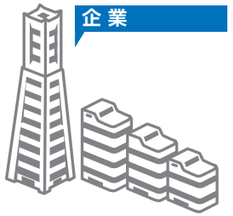
［皆様の暮らしを支えるアイネット］

アイネットは、ITサービスで、皆様の生活や　企業活動をサポートしています。

ガソリンスタンド

皆様がガソリンや灯油を購入される際に、スピーディかつ正確な精算が行われるよう、当社データセンターではクレジット決済業務や売掛処理を行い、ガソリンスタンドのサービスを支えています。

企 業



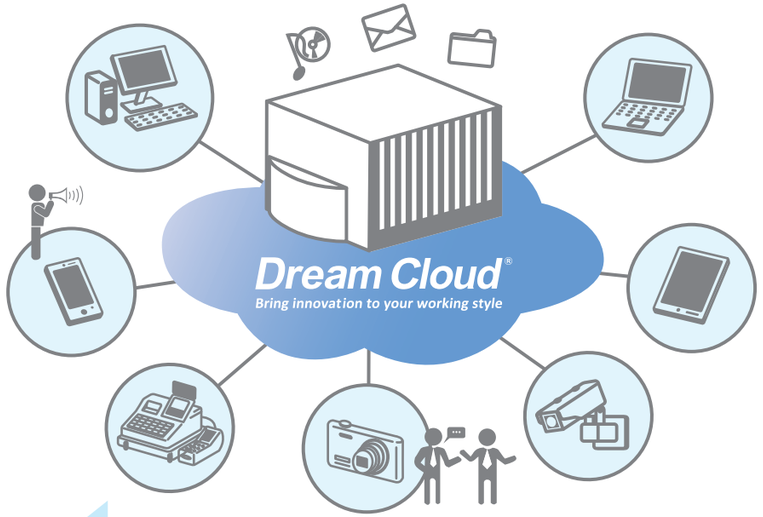
製造・販売・物流・会計など様々な分野において、システムを開発し、導入後も継続的にサポートさせていただくことで、お客様のビジネスの発展に貢献しています。

製造

皆様の身の回りにあるスマートフォンなどの精密機器のセンサーの高速化や省電力化、カーナビの機能向上など、便利で使いやすい機能を付加して、皆様にご利用いただいています。

医 療

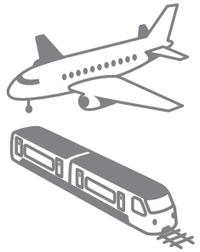
診断用装置・治療用装置などの医療機器や家庭でお使いになる在宅医療機器の設計開発を通じ、最先端医療を支えています。



クラウドサービス

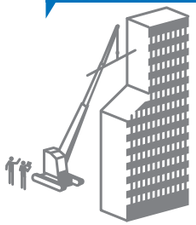
膨大なデータを分析し、様々な用途に活用しようという、ビックデータ時代。当社では、国内最高クラスのデータセンターを基盤に、豊富なクラウドサービスのラインナップを取り揃えています。これからもお客様企業を通じ、間接的に皆様の生活へ大きな利便性をもたらすアイネットの新クラウドサービスを提供してまいります。

航空／旅行会社



航空会社や旅行会社へ予約システムやチケットレスサービスなどを納入することで、皆様がスムーズな予約をはじめ安全で快適なサービスを受けられるようサポートしています。

建設／建築



大型ビルから戸建住宅まで、設計施工図面をデジタル保管することで、建設中はもちろんのこと引き渡し後のメンテナンスやリフォーム時にも速やかに図面を検索、共有できるようになり、アフターサービスのレベルアップに貢献しています。

宇宙開発

様々な観測衛星の設計・検査・運用に参画し、カーナビの精度向上、地球環境変動の監視や災害予知に貢献しています。小惑星探査機や国際宇宙ステーションなどの運用にも携わり、宇宙科学の発展にも貢献しています。

銀行／金融機関

ATMや窓口における入出金、残高管理などの各種システムを開発し、サービス提供するとともに、キャッシュカードや各種通知、ご請求書などを作成し、皆様へお届けしています。

コンビニ／スーパー

店舗システムを担当し、商品陳列から売れ筋商品の欠品防止、電子マネーやクレジットのご利用からポイント管理までと、身近な場所で皆様の生活の利便性向上に役立っています。

官公庁／自治体

行政機関からコンピュータをお預かりするとともに、納税や年金などの個人情報に関わる重要な通知を、高セキュリティのデータセンター内で厳密に処理し、皆様にお届けしています。

事例紹介　こんなところに使われています。

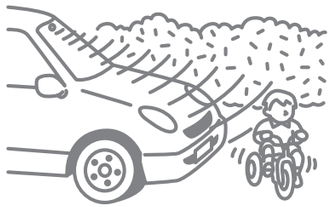
事例1　観光向けWebサイト

写真などの情報を登録するだけでプロ並みの観光情報サイトを作ることができるクラウドサービスを提供しています。観光協会や関連団体の運営する観光向けWEBサイトの運営をサポートします。

事例2　保健事業の案内通知

高いセキュリティを誇る自社保有データセンター内で、大量の保健事業に関する案内通知書の作成・印刷・発送までを行います。また、発送した通知に関するコールセンター対応も合わせて行っています。

事例3　自動車運転支援システム



当社では各車載機器やセンサー機器と連携した、自動車運転支援システムの開発に携わっています。ドライバーが視認困難な位置にある自動車、二輪車、歩行者等を検知しドライバーに伝え、安全運転と事故防止に貢献していきます。

[損益の概要]

(単位:百万円)

	前　期 (2015／4／1～2016／3／31まで)	当　期 (2016／4／1～2017／3／31まで)	増減額
売上高	24,434	24,617	182
売上総利益	5,702	5,900	197
営業利益	1,918	1,992	73
経常利益	1,838	1,939	100
親会社株主に帰属する当期純利益	1,114	1,314	199

[資産・負債の概要]

(単位:百万円)

	前期末 (2016／3／31現在)	当期末 (2017／3／31現在)	増減額
流動資産	8,593	8,850	256
固定資産	16,516	16,192	△323
流動負債・固定負債	13,316	12,358	△957
純資産	11,793	12,684	890
総資産	25,110	25,043	△66

[キャッシュ・フローの概要]

(単位:百万円)

	前　期 (2015／4／1～2016／3／31まで)	当　期 (2016／4／1～2017／3／31まで)	増減額
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,523	2,932	408
投資活動によるキャッシュ・フロー	△468	△979	△510
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,892	△1,728	163
現金及び現金同等物の期末残高	2,696	2,920	224

株主の皆様に必要なIR情報を公開しております。
財務諸表の詳細はこちらでご確認ください。

www.inet.co.jp/ir/

アイネット IR　検索

[決算数値のポイント]

ポイント1
データセンターやクラウドサービス、金融業向けのシステム構築などが堅調に推移した結果、売上高は182百万円増加し、6期連続の増収となりました。

ポイント2
情報処理サービスの売上高が増加したこと、また高収益のシステム開発サービス案件が増加したことにより、営業利益は3.8%増加の73百万円増加し、過去最高益を更新しました。

ポイント3
保有投資有価証券の評価増により265百万円増加しました。一方で有形固定資産は減価償却等により638百万円の減少となり、差し引き323百万円の減少となりました。

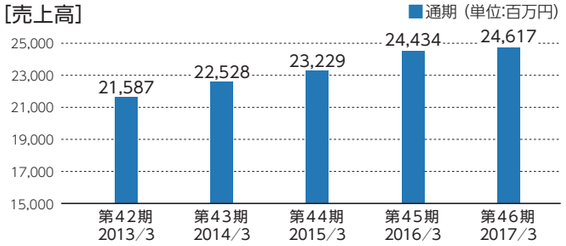
ポイント4
借入金の減少883百万円、リース債務の減少207百万円を主要因として、負債合計は957百万円の減少となりました。

ポイント5
利益剰余金が808百万円増加したこと、その他有価証券評価差額金が90百万円増加したことにより、純資産は890百万円の増加となりました。

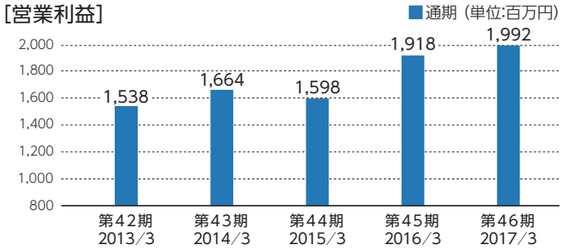
ポイント6
[営業活動によるキャッシュ・フロー]
利益および減価償却による内部留保で3,348百万円増加しました。一方で法人税等の支払額763百万円等があり、2,932百万円の獲得となりました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]
有利子負債の削減883百万円、リース債務の返済321百万円、配当金支払505百万円等を実施したことによるものです。

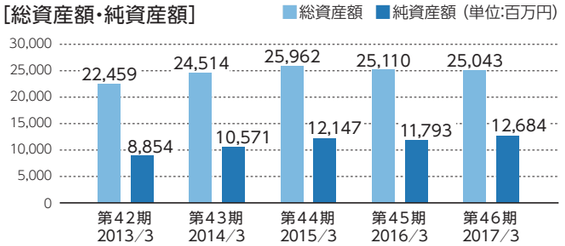
[売上高]



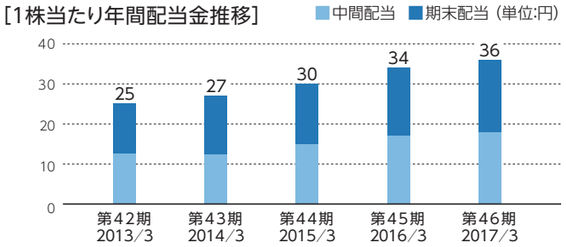
[営業利益]



[総資産額・純資産額]



[1株当たり年間配当金推移]

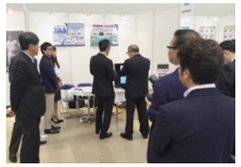


トピックス

主な活動をご報告いたします。

6月 10月 2月 各地の展示会に出展

2016神戸SSビジネス見本市



メッセナゴヤ2016

よこはまITフェア2017

神戸で開催された「2016神戸SSビジネス見本市」や日本最大級の異業種交流展示会「メッセナゴヤ2016」、横浜商工会議所主催の「よこはまITフェア2017」など様々な展示会へ出展致しました。クラウドサービスや、ソリューションサービスを紹介しました。

7月 テレビ神奈川「女性活躍特集」

テレビ神奈川の「カナフルTV」内で、当社の女性活躍の取り組みが紹介されました。

7月 11月 Dream Cloud Seminar 2016、Dream Cloud Innovation Day 2016

Dream Cloud Seminar 2016

Dream Cloud Innovation Day 2016

1,000社を超えるお客様にご利用頂いている当社クラウドサービス「Dream Cloud®」について、ユーザー事例を紹介しながら2回にわたるセミナーでご説明致しました。総勢約1,200名の方にお越し頂き多くの引き合いにつながりました。

11月 ChatLuck、NGEC上で本格稼働開始

ChatLuck
Next Generation EASY Cloud®

ネオジャパンのチャットシステム「ChatLuck」のクラウド版が、当社のクラウドサービス基盤「Next Generation EASY Cloud®」上で本格稼働を開始しました。

2016 4月 | 5月 | 6月 | 7月 | 8月 | 9月 | 10月 | 11月 | 12月 | 2017 1月 | 2月 | 3月

5月 11月 機関投資家向け決算説明会

当社グループに対する機関投資家からの理解促進を図るため、証券アナリストやファンドマネジャー向けに決算説明会を定期的(年2回)に開催しています。この決算説明会では、当社グループの事業戦略、IT業界における景況感および当社グループの状況、最後に業績予想について説明を致しました。

6月 定時株主総会と事業説明会

第45回定時株主総会を横浜ベイホテル東急で開催致しました。総会後の事業説明会では、社長の梶本より業績概況ならびに事業戦略の説明を行い、株主の皆様にご理解を深めて頂きました。

7月 創立45周年感謝の集い

1971年に前身である株式会社フジコンサルトを設立してから現在に至るまで、お世話になった各界からのお客様をお招きし、横浜ロイヤルパークホテルにて「創立45周年 感謝の集い」を開催致しました。

9月 ドローンIoTプラットフォーム事業へ参入

近い将来には多くの利用が期待される「ドローン(小型無人航空機)」を活用した先進IoTプラットフォーム事業への参入について記者発表を開催致しました。

9月 10月 個人投資家向け会社説明会

個人投資家向け説明会を東京・大阪・名古屋の3都市で開催致しました。社長の梶本より当社の事業内容、ビジネスモデル、配当方針や社会貢献への取り組み等を説明し、個人投資家の皆様に理解を深めて頂きました。

12月 ISTソフトウェア、mitte事業のサービス提供開始

当社グループ会社のISTソフトウェアが、観光向けwebプロモーションサービス「mitte」のサービス提供を開始しました。既に70団体以上の自治体等に導入されており、多言語対応により訪日外国人向けのインバウンドサービスにも対応しています。

9月~1月 当社TV CMを継続的に放送

テレビ神奈川のラグビー中継、野球中継等へ協賛し、当社のテレビCMを約半年に渡り放送しました。

3月 新卒採用イベント実施

マイナビ就職セミナー横浜会場

神奈川IT就職フェア

多数の企業が参加する就職活動イベントへの出展や、各学校での学内説明会を多数実施しました。

アイネットグループの主な社会貢献活動をご報告いたします。

障がいのある方の自律を支援

当社グループは、障がいのある方が、障がいのない方と同様に、その能力と適性に応じた職業に就労し、自律した生活を送ることができる社会の実現に向けた支援も社会貢献活動のひとつと考えております。その取り組みとして、障がい者雇用の促進を目的として特例子会社の株式会社アイネット・データサービスを設立し、障がいのある方が「自立・成長・自律」できるよう支援を続けております。

特例子会社

「障がい者の雇用の促進等に関する法律」に基づき、企業が障がい者の雇用にあたり就労環境や就労条件など特別に配慮した子会社を設立し、一定の条件を満たしているとの厚生労働大臣の認定を受けた会社をいう。

株式会社アイネット・データサービス 経営理念

自立そして自律

自立 成長 自律

自 立
自らの力で、社会人として独り立ちできることを目指す

成 長
自らの目標に向かい、努力することで成長を促す

自 律
自らの考えに従って、行動できることを目指す

障がいを持つ社員個々人が、自らの力で独り立ちし、そして自らの考えで行動できるように、私たちは応援してまいります。

その他社会貢献活動

当社グループは、地域での雇用創出や地域開催イベントへの協賛、文化活動への支援を中心に積極的に社会貢献活動を行っております。

- **地域社会貢献** … 地域開催イベントへの協賛
  地域での雇用創出
  (パート、アルバイトの方の登録者数300名超)
- **文化活動への支援** … 文化団体や各種イベントへの協賛
- **女性活躍推進** … 社会全体で女性の活躍を応援する機運を高めていくことをめざし、「かながわ女性の活躍応援団」に参画しました。
  また、創立45周年の節目として、神奈川県と横浜市に女性活躍推進への寄付を行いました。

当社で活躍するパート、アルバイトの方々(一部)。

「かながわ女性の活躍応援団」の全体会議の様子。

女性活躍推進への寄付で神奈川県・黒岩知事、横浜市・林市長から感謝状を受領。

アンケートにご協力ください

当社では、株主の皆様の声をお聞かせいただくために、アンケートを実施しております。お手数ではございますが、同封のアンケートはがきにご記入の上、7月31日までにご投函いただきますようお願い申し上げます。

同封のアンケートはがきをお送りください

会社の概況 (2017年3月31日現在)

商号	株式会社アイネット／I-NET CORP.
上場金融商品取扱所	東京証券取引所市場第一部(9600)
本社	横浜市西区みなとみらい三丁目3番1号
電話番号	(045)682-0800(代表)
URL	www.inet.co.jp/
設立	1971年4月22日
資本金	3,203,992,690円
従業員数	1,307名(連結)／876名(単独)
事業内容	情報処理サービス システム開発サービス システム機器販売

役員 (2017年6月23日現在)

取締役会長	池田 典義
代表取締役社長	梶本 繁昌
取締役副社長	田口 勉
常務取締役	坂井 満
常務取締役	鰐渕 浩
常務取締役	佐伯 友道
取締役	内田 直克
取締役	石神 哲
取締役	立島 直記
取締役	木下 昌和
取締役	浅井 紀代子 *1
取締役	竹之内 幸子 *1
常勤監査役	本村 晴樹 *2
常勤監査役	宮崎 正敏 *2
監査役	大橋 秀夫 *2
監査役	田下 佳彦 *2

*1…社外取締役　*2…社外監査役

子会社

株式会社ISTソフトウェア
www.ist-software.co.jp/
資本金 608百万円
事業内容 情報処理サービス
システム開発サービス
システム機器販売

株式会社アイネット・データサービス
(特例子会社)
www.inet-d.co.jp/
資本金 9百万円
事業内容 情報処理サービス

株式の状況 (2017年3月31日現在)

株主数	4,034名
発行可能株式総数	60,000,000株
発行済株式の総数	16,242,424株

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
池田 典義	1,840,779	11.58
アイネット従業員持株会	1,425,156	8.96
北川 淳治	781,330	4.91
株式会社横浜銀行(常任代理人資産管理サービス信託銀行株式会社)	707,300	4.45
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	471,400	2.96
BNP PARIBAS SECURITIES SERVICES LUXEMBOURG/JASDEC/FIM/LUXEMBOURG FUNDS/UCITS ASSETS (常任代理人 香港上海銀行東京支店)	430,000	2.70
有限会社エヌ・アンド・アイ	316,778	1.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	309,100	1.94
日本生命保険相互会社(常任代理人日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	275,000	1.73
三菱総研DCS株式会社	239,580	1.51

※持株比率について… 自己株式を342,782株保有しておりますが、持株比率は自己株式を控除して計算しております。

所有者別構成比

金融機関	0.67%
証券会社	0.64%
国内法人	1.36%
外国法人等	1.83%
個人・その他	95.50%

金融機関	18.06%
証券会社	0.91%
国内法人	8.97%
外国法人等	7.98%
個人・その他	64.08%

IRカレンダー

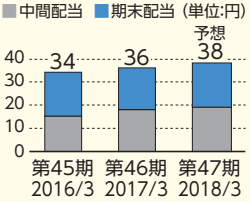
2017年7月31日	2018年3月期第1四半期決算発表
9月30日	中間配当金の基準日 株主優待権利確定日
10月下旬	2018年3月期第2四半期決算発表
11月下旬	2018年3月期第2四半期決算説明会
12月上旬	2018年3月期第2四半期株主通信発送 中間配当金支払い
2018年1月下旬	2018年3月期第3四半期決算発表
3月31日	期末配当金の基準日 定時株主総会基準日
5月上旬	2018年3月期決算発表
中旬	2018年3月期決算説明会
6月上旬	定時株主総会招集通知発送
下旬	第47回定時株主総会 決議通知書、株主通信発送 期末配当金支払い

株主還元について

■配当金

1株当たり年間配当金38円(予想)

当社は将来の資金需要に備え内部留保を充実しつつ、安定的な配当を継続して実施することを基本としております。第47期は、1株当たり年間38円(中間配当金19円、期末配当金19円)を予定しています。



■株主優待制度

株主優待のお知らせ

株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式の魅力を高めることを目的に、株主優待をもうけております。

■ **対象株主様**

9月末日時点で1,000株以上保有いただいている株主様

■ **優待内容**

所有株式に応じて当社オリジナルのQUOカードを年1回(12月上旬)お届けいたします。

■ **社会への貢献**

贈呈額の10%を別途、当社より障がい者支援団体等に寄付をさせていただきます。昨年12月に贈呈の株主優待分につきましては、特定非営利活動法人横浜移動サービス協議会に全額寄付いたしました。

所有株式数	優待内容
1,000株以上3,000株未満	1,000円分
3,000株以上5,000株未満	2,000円分
5,000株以上	3,000円分

さらに3年以上継続保有の場合は、1,000円分のQUOカードを追加

株式メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
定時株主総会	毎年6月
基準日	定時株主総会・期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂7-10-11 TEL 0120-232-711(通話料無料) ※株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関の事務拠点の移転に伴い、平成29年8月14日以降の連絡先住所は以下となります。 東京都府中市鋼町1-1
上場証券取引所	東京証券取引所
公告の方法	電子公告により行います。 公告掲載URL www.inet.co.jp/ir/stock.html/ (ただし、電子公告によることができない事故、その他やむを得ない事由が生じた際には、日本経済新聞に公告致します。)

[ご注意]

1. 株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎ致します。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払い致します。

ホームページのご案内

トップページより
投資家情報をお選びいただくと、
最新情報がご覧いただけます。

www.inet.co.jp/

アイネット 検索

(商標について) 記載されている製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

inet 株式会社 アイネット

VEGETABLE OIL INK